

## 和大生が青年海外協力隊に合格しました！

8月にJICAの青年海外協力隊春募集および短期ボランティアの応募結果が発表され、和大生が見事に合格しました！「ベナン小学校教教育」に合格されたのは、教育学部3年の藤田恵奈さん。藤田さんは、WAP（和歌山大学ASEANプロジェクト）－Cubeの代表として活躍され、来年4月から派遣前研修に参加し、7月頃から2年間、ベナンに派遣される予定です。「ウガンダ野球」の短期ボランティアに合格されたのは、教育学部4年の土井拓哉さん。土井さんは、野球部で活躍され、その経験を活かし、9月から野球指導のため、6か月間、ウガンダに派遣される予定です。



藤田恵奈さん



土井拓哉さん

まもなくウガンダに向けて出発する土井さんは、「目標は、『野球を通してより多くの笑顔をつくり、現地の人々の幸福に繋げること』です。野球の指導と普及活動を行ってくるので、その結果として野球の楽しさを知ってもらい、日本のように野球を見たりプレーしたりして一喜一憂できるよう、力を注げたらなと考えています。」と抱負を語ってくれました。

お二人は、青年海外協力隊としてセネガルに派遣されていた藤戸台小学校の新江先生の報告会に出席したり、熱心に情報収集をしながら、応募に向けた準備をされてきました。現地ではさまざまな苦勞もあるかもしれませんが、きっとたくましく乗り越えていかれることでしょう。お二人の今後のご活躍を楽しみにしています。お二人の合格はたいへん明るいニュースで、他の和大生の皆さんにとっても刺激になることでしょう。



合格を祝福し、パワーを送る WAP のみなさん

青年海外協力隊は今年が創立 50 周年。次回の秋募集は 10 月 1 日から 11 月 2 日となります。和太では、秋募集の時期に合わせ、10 月 15 日 5 限に、G102 で募集説明会を計画しています。グアテマラで算数教育に携わった和歌山県出身の木村嘉秀さんに体験談をお願いしていますので、ぜひお越しください。

2015 年 9 月 24 日

国際教育研究センター